

■集計

以下の協働事業自己チェックリストの集計は事務局担当者が行います。

- (1) 事務局担当者は、集計結果をチェックリスト記入者全員に配布してください。
- (2) 集計シートの小項目で「はい」が多い・少ないのは、共通認識ができていないか、あまり共通認識となっていないかの度合いを表します。
認識できている小項目と認識されにくい小項目を確認します。
認識されにくい部分については、認識のすり合わせができるように話し合ってください。
- (3) 話し合った結果は、次回の協働事業を実施する際にお役立てください。

協働事業自己チェックリスト 集計シート（完了）

記入者数N=2

項目	小項目	はい	いいえ	?	合計
I. 事業の結果	1. 問題発生時の体制	2			
	2. クレームの吸い上げとフィードバック	2			
	3. 事業実施後の振り返り	1		1	
	4. 成果の達成	2			
	5. 事業の将来展望	1		1	
II. 事業の成果	1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度	2			
	2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度	1	1		
	3. 人々の自立性の向上	1	1		
	4. 新たなネットワーク	2			
	5. 地域や社会に与えたインパクト	2			
III. 実施の結果	1. 協働意識の醸成	2			
	2. 協働の満足度	2			
	3. 協働のコストの分担	1		1	
	4. 今後の協働の改善	2			
	5. 結果の公開と説明責任	2			

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：三重県生活部青少年育成室

記入者氏名：橋本真一

記入年月日：平成17年3月18日

協働事業の名称：三重県青少年健全育成協働・連携促進事業

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
 行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
 ○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源（人・物・予算・情報）、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果] 事業実施結果報告書を提出していただいたときに話をしました。

4. 成果の達成

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

（*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります）

[成果] 当初の協働事業提案のあった事業を実施してもらったと思います。

5. 事業の将来展望

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]

今回のこの事業は単年度で終了しますが、事業実施結果報告書には、青少年健全育成に対する成果・影響・県等に対する政策提言などを記載してもらえるようになっています。

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

今後の事業につながる良好な関係づくりができました。

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

この事業については、ホームページ等で情報を提供することとなっています。

3. 人々の自立性の向上

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

4. 新たなネットワーク

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を実施することにより、期待された影響 [課題解決・社会変革] を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響]

この事業により青少年健全育成に寄与したと思います。

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感]

4. 今後の協働の改善

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源（人・物・予算・情報）調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント]

5. 結果の公開と説明責任

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

上記「はい」と答えた合計	5
--------------	---

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[完了期]

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業に中心的に関わっていた人」が、
事業終了後、報告書作成段階の「完了期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称： NPO 法人 三重にフリースクールを作る会

記入者氏名： 石山 佳秀

記入年月日 H17年 3月 7日

協働事業の名称： 不登校の子どもの学びの支援と不登校に関わる大人のための
心理的サポート

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 事業の結果

1. 問題発生時の体制

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して問題が発生した場合に、速やかに両者でその問題について情報を共有し、話し合いを行ったり、解決できない場合は第三者に相談するなど、解決を図る体制をつくりましたか？

2. クレームの吸い上げとフィードバック

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業実施に関して受益者やドナーから苦情や意見が寄せられた場合に、速やかに両者でその情報を共有し、適切に対応すべく、改善に向けた話し合いを行い、活かすことができましたか？

3. 事業実施後の振り返り

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input checked="" type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	---------------------------------------

事業終了後、当初の企画や実施内容、その結果についてお互いに話し合う機会を持ち、結果の把握と共有に努めるとともに、それぞれの提供した資源（人・物・予算・情報）、役割、負担などに見合う、事業規模、取り組み、結果であったか意見交換を行いましたか？

[結果] 今回の話し合いが、それに相応すると思える。

4. 成果の達成

<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> ?
--	------------------------------	----------------------------

事業を始める時に設定した成果目標は、達成できましたか？

（*成果目標を、両者の間で話し合い、互いに達成を確認していることが前提となります）

[成果] 不登校の子どもに不登校の字がわからぬ確認と、不登校に関わる人の心理的サポートに不登校方法（当事者を支えるケア）の明確化、子どもと大人を同時進行的相対的にサポートする方法論の提示。

5. 事業の将来展望

<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input checked="" type="checkbox"/> ?
-----------------------------	------------------------------	---------------------------------------

今回行った事業が、今後どのような形で続いていくことが望ましいか、残っている課題や改善策について話し合い、政策提言としてまとめるなど、行政関与の観点も含めて、社会的な責任を果たしていく体制などを両者で検討しましたか？

[課題解決のための改善提案]

今回の話し合いが、それに相応すると思える。

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

II. 事業の成果

1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、受益者から意見を聴く機会を持ち、この事業を通じて十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[受益者の満足の声]

フォーラムアンケート「実際は不登校を体験した本人の話が聞けるという点は本当にありがたいです。まわりの大人が何を言っても当事者本人を信じて、理解することが間違っていないかということがよくわかり、心配いらなかったな」という思いがわいてきました。

子ども畑講座「みんなと下の男達は愛情たっぷりで、料理がおいしく食べられました。」

2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業終了後、報告書や決算書などを作成し、納税者を含む資源提供者への積極的な情報の提供や公開を行い、また、意見を聴く機会を持ち、事業の結果に十分な満足を得られたかを確認し、今後の事業につながる良好な関係づくりを行っていますか？

[資源提供者の満足の声]

3. 人々の自立性の向上

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、地域の人々が、地域や社会の課題を理解し、自立した市民として、解決のために自発的に行動できるようになりましたか？

4. 新たなネットワーク

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて、市民や関係する団体、行政の新しいつながりが生まれ、地域に新たなネットワークが出来てきましたか？

5. 地域や社会に与えたインパクト

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を実施することにより、期待された影響〔課題解決・社会変革〕を、地域や社会にもたらすことができましたか？

[事業が地域や社会に与えた影響]

不登校についての思いや誤解をとりやめ、不登校に悩んでいる大人たちを救う場とすることができた。

不登校の子どもが優しく育ち、学んでくためのよい土壌を提示することができた。

上記「はい」と答えた合計	3
--------------	---

Ⅲ. 実施の結果

1. 協働意識の醸成

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業関係者（行政・市民）の間で、協働への理解が深まり、効果を実感する人が増え、今後、積極的に協働という手法を事業に取り入れ、実施しようという機運が生まれてきましたか？

2. 協働の満足度

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、事業に関わった人々（行政・市民）は、単独で事業を行った場合よりも、協働で進めたことでより大きな効果を得たと実感し、十分な満足を得ることができましたか？

3. 協働のコストの分担

はい	いいえ	?
----	-----	---

事業を通じて、行政側、市民側、あるいは一部の関係者に、費用、労力・時間等、ある面での負担感が生じたとき、その負担に対する配慮ができていましたか？

[生じた負担感]

4. 今後の協働の改善

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業を通じて得た、協働事業を行う際の関係づくり、資源(人・物・予算・情報)調達、役割分担、連携等の課題を抽出し、両者で改善を考え、互いに今後の協働事業に活用していきますか？

[改善ポイント] 中間報告で話し合いがたまりやすくなる。事前にもよむな話し合い場を設けることでさらによくなるが考えられ
--

5. 結果の公開と説明責任

はい	いいえ	?
----	-----	---

この事業の結果や成果を自己評価や当事者以外の評価によって明らかにし、今後、同じような協働事業の企画・実施にあたっての改善のヒントにするために、地域や社会に対して積極的に情報を公開していきますか？

上記「はい」と答えた合計	4
--------------	---